

大分県日出生台における 軍事演習反対運動の展開

— 生活世界からの抵抗 —

立入禁止

発表

中島 弘二 (金沢大学)

コメント

大野 光明 (滋賀県立大学)

2018

8/22 水

15:00~18:00

事前予約は不要です
直接会場へお越しください

発表者プロフィール

中島弘二(なかしまこうじ): 金沢大学大学院人間社会環境研究科准教授。自然の地理学(geographies of nature)を専門とし、近代日本における森林保全や風土論の批判的読解を通じて自然と社会の多文化的な関係の模索、本質主義的な自然観を批判的に乗り越える理論的な枠組みの構築、大分県と沖縄県の農山漁村をフィールドとした自然や軍事基地にかかわる研究などを行う。

著書・論文: 「泥、石、身体: 身体と物質性をめぐるポリティクス」(『空間・社会・地理思想』17, 2014年)、「基地問題をめぐる人々と環境の関わり: 沖縄県辺野古の海上基地建設問題を事例として」(浅野敏久・中島弘二編『自然の社会地理』海青社, 2013年)、「日本植民地主義と自然」(『生物学史研究』No84, 2010年)ほか

コメントプロフィール

大野光明(おおのみつあき): 滋賀県立大学人間文化学部准教授。専門は歴史社会学、社会運動論。

著書・論文: 『沖縄闘争の時代1960/70』(人文書院, 2014年)、「宇川と丹後の戦争史と基地・軍隊 一増田光夫氏に聞く」(『Notre critique』10, 2017年)ほか

立命館大学国際平和ミュージアム
1階中野記念ホール
立命館大学衣笠キャンパスから東に徒歩5分

問い合わせ:

立命館大学国際平和ミュージアム
平和教育研究センター

☎ 075-465-8354

✉ peaceins@st.ritsumei.ac.jp

本研究会は、基地問題を語る際に生じる自衛隊と米軍の区分を批判的に捉え直し、地域社会の歴史性から基地問題を語る新しい回路を模索するプロジェクトです。